

地域・団体推進部会

## 少子高齢化・多様化が進む中で だれ一人取り残されない地域づくりを

自治会ごとに地域の状況や課題は異なり、地域づくりへの取組の段階もさまざまです。その中で、自治会が従来の役割に加え、地域づくりの視点を持ちながら、今日的な課題の解決に向けて動き始めていることを感じています。

何事もすぐに大きく変わるものではありませんが、少しずつでも取組を積み重ね、継続していくことが大切です。そのためには、これまでの組織のあり方を見直し、若い世代や女性など、多様な立場の方が力を発揮できる地域の仕組みづくりも必要です。

だれ一人取り残さない地域づくりの出発点は、近隣の人とのつながりの中にある「お互いさま」の意識です。できる範囲で支え合い、持てる時間や力を少しずつ持ち寄り、隣人を気づかう、小さな共助の積み重ねが、地域の安心につながっていきます。

また、地域づくりを進めるためには、地域の声を丁寧に聞き取り、さまざまな視点から分析し、客観的なデータも踏まえながら、有効な取組を考えていくことが大切です。

今後は、子ども育成会や老人クラブの減少、転入者や外国籍住民の増加など、地域を取り巻く状況がさらに変化していきます。そのような中で、高齢者や子どもたちの居場所づくり、新たに地域に来られた方々との交流、そして住民一人ひとりを取り残さない仕組みづくりを、地域の実情に応じて考えていく必要があります。

令和8年度も、地域の皆様とともに、一步一步、できることから進めていければと思っています。

### 令和8年度新盤 人権啓発 DVD の紹介

No.	作品テーマ	DVD の概要	上映時間
① 2601	見上げれば 社会におけるひきこもりと人権 《ひきこもり課題》	ひきこもりの背景や状態は人それぞれですが、長期化すると、社会や人に対する恐怖感が強まり、本人や家族の人生に深刻な影響を及ぼします。就職や再就職の難しさに加え、家族もどうしてよいか分からず、心身ともに疲弊してしまうなど、その苦悩は計り知れません。本作品は、できるだけ早い段階で適切な支援につながることの重要性や、信頼できる他者とのつながり、寄り添ってくれる人のいる「居場所」が、回復のきっかけとなることを伝えます。誰もが支え合える社会の実現をめざす啓発ドラマです。	34分
② 2602	死と向き合う ～大慈学苑の取り組み～ 《死と生きることについて》	【上巻 2602-1】 症状の変化を見守りながら、それぞれの段階での留意点や対応について、自宅での看取りに必要な基礎知識を紹介しています。あわせて、症状の変化に対応する際の考え方や、本人・家族への接し方についても分かりやすく解説しています。 【下巻 2602-2】 死と向き合う中で生まれる心の変化や、そこから得られる学び、そして今後の地域での取組の方向性について解説しています。死を通して「生きること」の意味をあらためて考えるきっかけとなる内容です。	30分 26分
③ 2603	君の景色を知ったとき ～それは、誰にとつての 当たり前～ 《無意識の偏見・当たり前》	私たちが日々当たり前のように使っているものでも、人によっては簡単に利用できないことがあります。例えば、財布の中のクレジットカードやICカードは、目の見えない人にとって、どのカードなのかを見分けることが簡単ではありません。障がいのある人や外国人、子どもや高齢者など、多くの人にとっての「当たり前」の中に不便を感じている人がいることに気づき、人と人が支え合うことの大切さを描いたドラマです。	30分



ゆたか保育園 にじぐみ(4歳児クラス)

元気いっぱい個性あふれるみんな。  
進級を喜び、毎日子どもたちの楽しそうな表情がたくさん見れます。  
これからも、たくさんの経験の中で、楽しいを一緒に見つけていこうね!

にじ組担任 中村 結衣、片岡 加奈恵



秦川愛児園 うめぐみ(4歳児クラス)

毎日元気いっぱいのうめぐみさん。  
おにごっこやままごと、粘土あそびが大好きで、園庭でもお部屋でも笑い声であふれています。  
これからもいろいろなことに挑戦し、みんなでたくさんの思い出を作っていこうね。

うめぐみ担任 太田 紗織